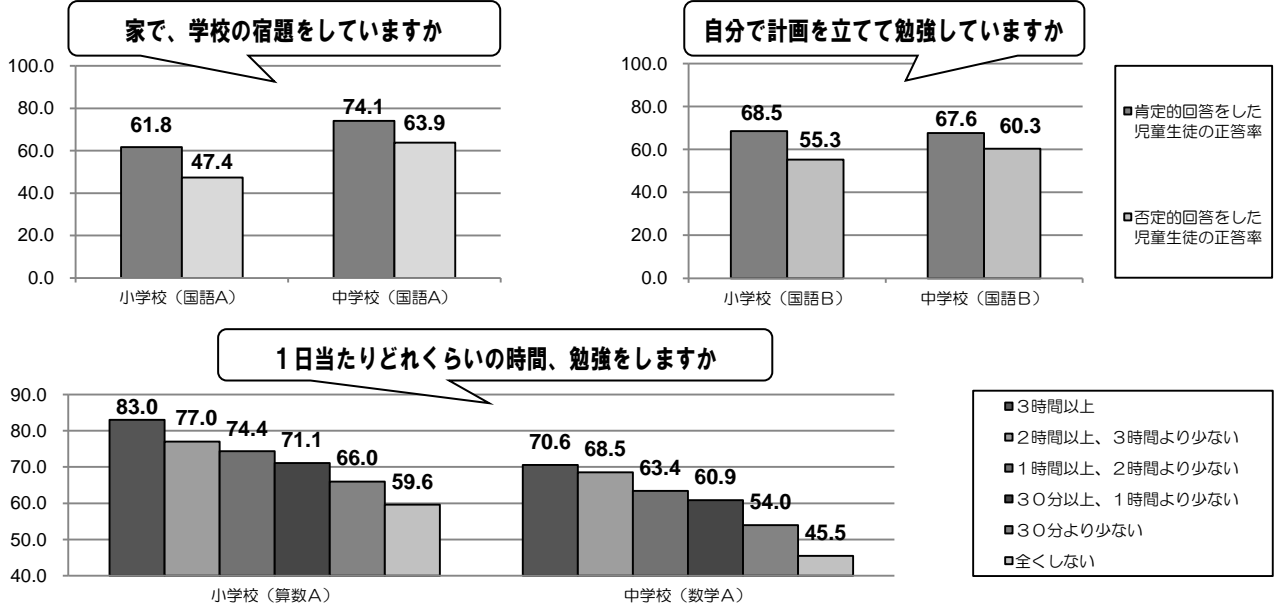


—大阪市の結果から—



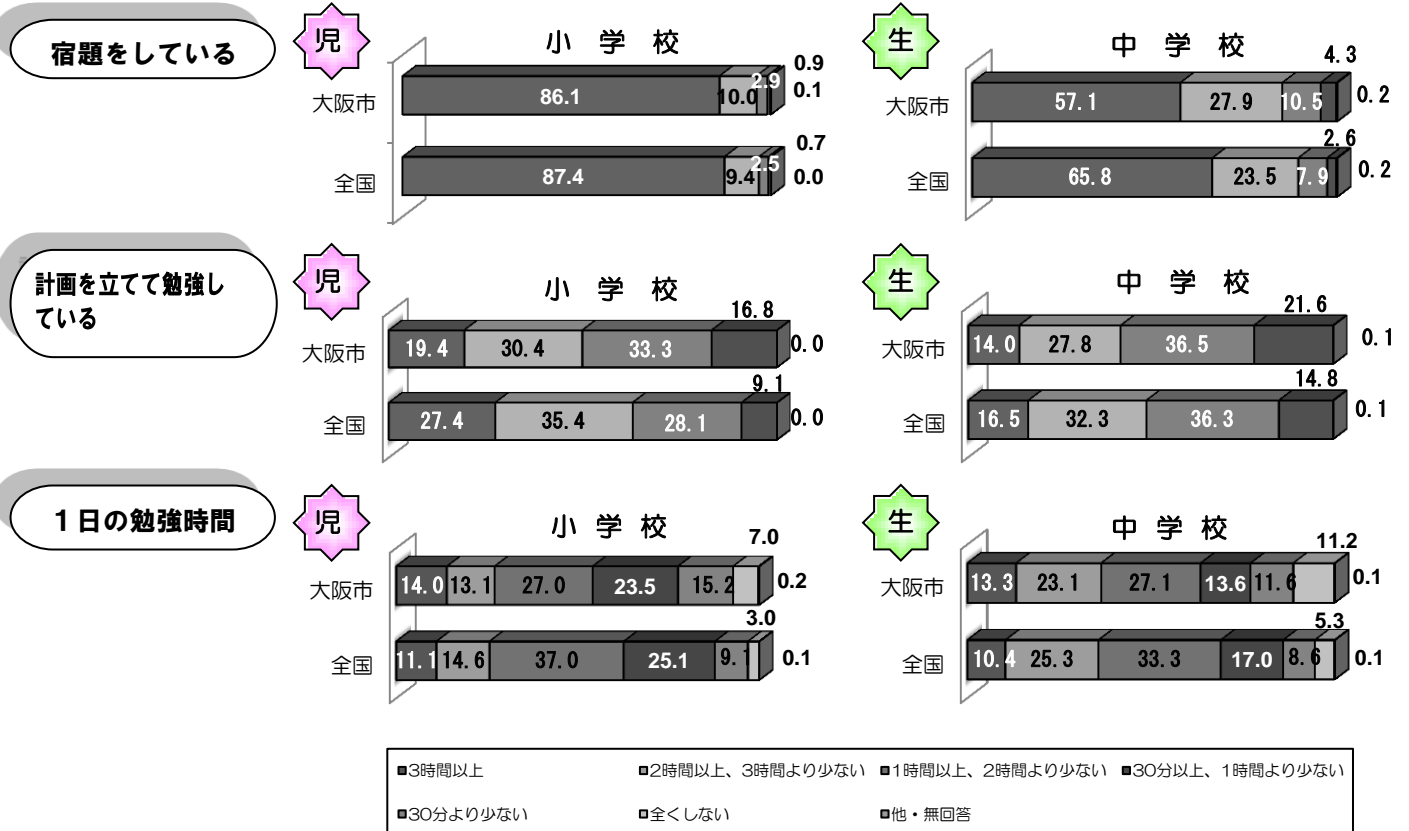
次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、全ての教科で正答率が高い傾向にあります。



—全国と比較して—

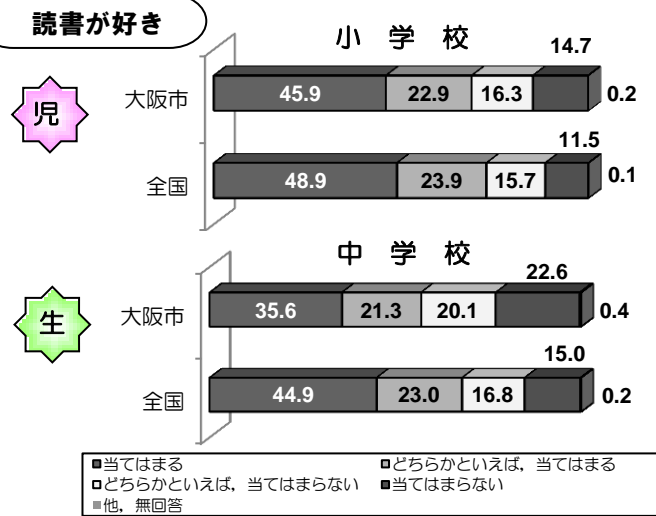
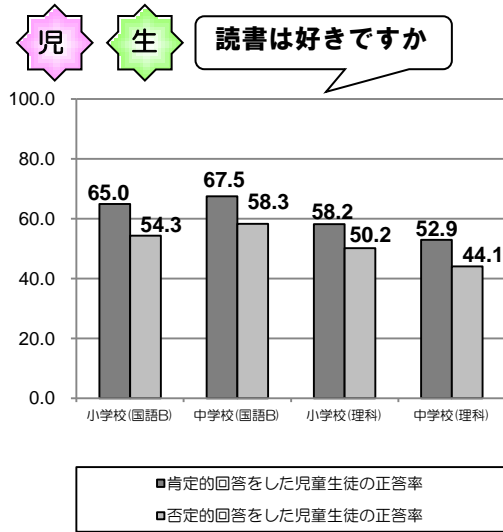


「宿題をしている」「計画を立てて勉強している」について、肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国と比較して低い状況です。また、「1日の勉強時間」について、2時間以上と回答している割合は、全国と比較して高いものの、30分以下と回答している割合も高く、二極化しています。



—大阪市の結果から— —全国と比較して—

次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、正答率が高い傾向にあります。また、肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国と比較して低い状況です。



学校で

- 与えられた課題や宿題は、やり遂げるように指導します。
- 家庭学習の取り組み方について、指導していきます。
- 中学校では、各教科などの担当が共通理解を図りながら宿題の分量や出し方を工夫します。
- 懇談会などにおいて、家庭学習（宿題）について保護者の方々と意見交流をします。
- 図書の時間に、家庭での読書の動機づけとなるよう取組を工夫します。



家庭で

- 宿題を確実に仕上げるように、見守りましょう。
- 内容や時間については、自分で計画を立てて取り組めるように話し合しましょう。また、うまく進まない時には、声かけをし、励ましましょう。
- 宿題以外にも、復習や読書など、自分で考えた課題に取り組めるように、声かけをしましょう。

効果があった取組例

- 「家庭学習の手引き」を配布し、取り組み方を示しています。
 - ☆ 漢字では・・・筆順・熟語・文づくり・意味調べなど、いろいろなパターンで取り組ませています。
 - ☆ 音読では・・・毎日のめあてを決め、目的をもって読ませています。
- 学校図書館の開館回数を増やすとともに、児童生徒の読書活動を推進する魅力ある学校図書館づくりを行い、読書意欲を高めています。
- 第2週を読書週間にしており、高学年が低学年の読み聞かせをしています。
- 長年の朝読書に加え、図書室の環境整備により新たに読み聞かせスペースを作り、開館時間を長くしています。
- 自分で課題を見つけて学習するような、自主学習の機会を増やしています。



大阪市の取組

「学習教材テータ配信」(P. 45)「学校図書館活性化事業・学校図書館活用推進事業」(P. 46)
「放課後ステップアップ事業」(P. 51)「学校元気アップ地域本部事業」(P. 51)

自尊意識・規範意識

—子どものころを育てましょう—

※ 自尊意識：self-esteemの訳語で「やればできる」という自信や自分を大切にしようとする意識
 ※ 規範意識：規則を守ろうとする意識

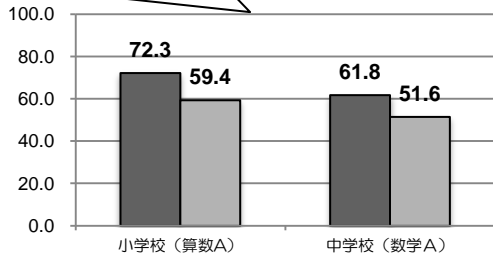
児 児童質問紙 生 生徒質問紙 学 学校質問紙

—大阪市の結果から—

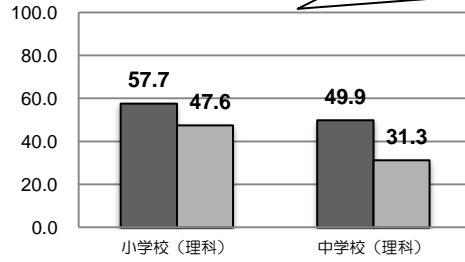
児 生

次の項目に肯定的に回答している児童生徒、学校の方が正答率が高い傾向にあります。

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

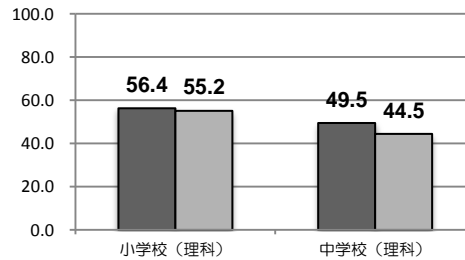
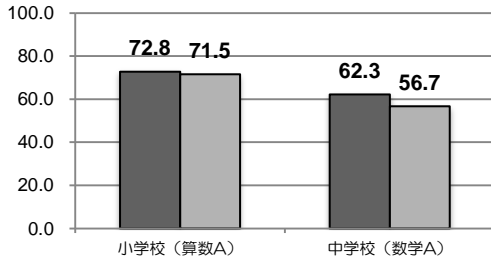


学校のきまりや規則を守っていますか



学

学習規律の維持を徹底している



■ 肯定的回答をした児童生徒、学校の正答率
 □ 否定的回答をした児童生徒、学校の正答率

—全国と比較して—

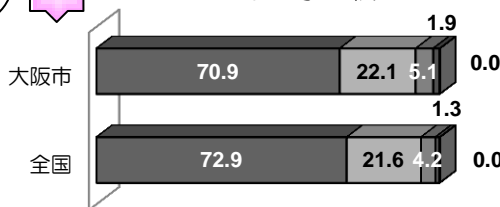
「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」について肯定的な回答をしている児童生徒の割合は、全国と比較してやや低い状況です。
 「学校のきまり・規則を守っている」について、肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国と比較して小学校では低く、中学校ではやや低い状況です。

■ している
 □ どちらかといえば、している
 ■ あまりしていない
 ■ 全くしていない
 ■ 他・無回答

ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある

児

小学校



生

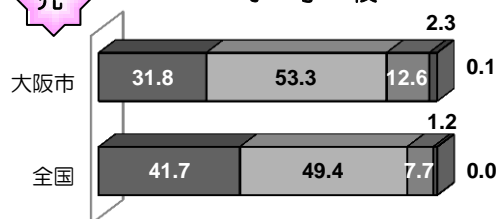
中学校



学校のきまり・規則を守っている

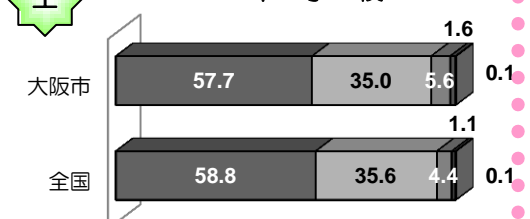
児

小学校



生

中学校

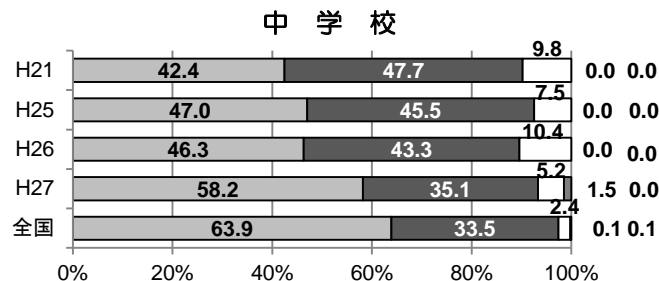
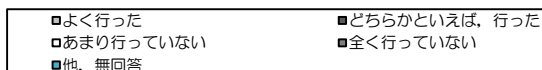
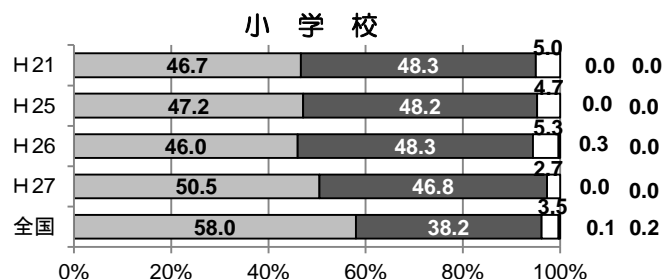


—全国と比較して—

「学習規律の維持を徹底した」について、肯定的な回答をした小学校の割合は、全国と比較して高い状況です。「自分には、よいところがあると思う」について、肯定的に回答している児童生徒の割合は、26年度と比較すると増加していますが、全国と比較して低い状況です。

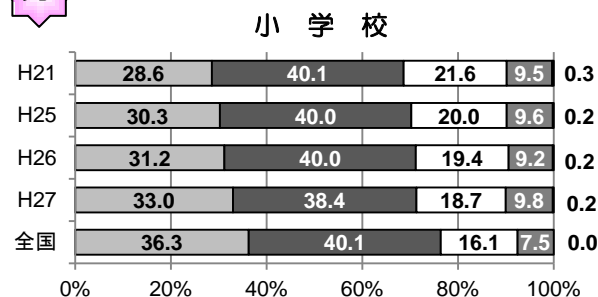
学

学習規律の維持を徹底した

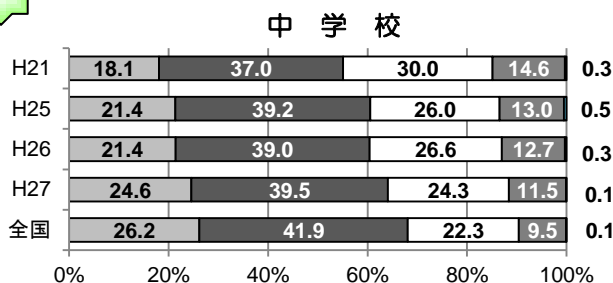
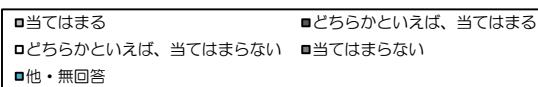


児

自分には良いところがあると思う



生



学校で

- 学びの基盤となる学習規律を身に付けさせます。
- 子どものがんばりを認め、一人一人の良さを伸ばします。
- よりよい人間関係を築くため、規範意識を高めます。
- 子どもとの対話を大切にしよう心がけ、信頼関係を深めます。

家庭で

- 子どもの取組を粘り強く見守り、励ましましょう。
- 子どもが自信を持って取り組んでいることは、がんばりを認め、さらに伸びていくことができるよう、温かい言葉をかけましょう。
- 夕食や家事の手伝いを通して会話を楽しみ、ほめてあげましょう。
- 大人が自分自身の経験を語ったり、子どもの夢や希望について積極的に対話したりしましょう。

効果があった取組例

- いろいろな場面で友達の良いところを発表したり、「ほめことばのシャワー」として良いところを書いて渡したりすることで、「自分の良さ」に気付けるようにしています。
- がんばりが見られた時には、家庭や学校全体で共有し、ほめるタイミングを逃さないようにしています。
- ノーチャイムを実施して、自主的に時間を守る習慣を身に付けるよう取り組んでいます。
- 「時間を守る」などの学習規律の徹底について、学校全体で取り組んでいます。

大阪市の取組

「幼保小の連携」(P. 50) 「放課後ステップアップ事業」(P. 51)
「学校元気アップ地域本部事業」(P. 51) 「学校キャラバン隊」(P. 52)